

彦名通信



vol.216

COMMUNICATION MAGAZINE NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY (KOSEN), YONAGO COLLEGE



新入生代表宣誓



高専祭（体育の部）の様子

Index

新年度特集

校長挨拶、入学式の様子…………… 2

年度はじめにあたって、学生相談室のご案内… 3

地域に支えられる総合工学科…………… 4

クラス便り

1年学年主任から…………… 5

1年1組…………… 5

1年2組…………… 5

1年3組…………… 6

1年4組…………… 6

1年5組…………… 6

3年学年主任から…………… 7

3年機械システムコース…………… 7

3年電気電子コース…………… 7

3年情報システムコース…………… 8

3年化学・バイオコース…………… 8

3年建築デザインコース…………… 8

留学生、4年次編入生代表、専攻科1年生代表… 9

新任教員の紹介……………10

キャリア支援室より……………11

学生会……………12

学生の活躍……………13

国際交流支援室より、地域創生テクノセ

ンターより、広報室からのご連絡……………14

卒業生は今（Vol.35）……………15

としょぶらり……………16

新入生を迎えて

校長 山口 利 幸

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。令和7年度入学式を4月7日に米子コンベンションセンターで挙行し、本科1年生199名、第3学年外国人留学生1名、第4学年編入学生3名、専攻科学生23名が入学しました。本年度は、石破茂内閣総理大臣や赤澤亮正経済再生担当大臣からも祝電を頂戴し、高専生にかかる期待の大きさが伺えます。新入生の皆さんが、本校での学修や活動を通じて大きく成長することを願っています。

以下に、入学式式辞の一部抜粋を示します。ご参照ください。

新入生の皆さんがこれから学ぶ米子高専は、独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する全国51の国立高専の各校です。皆さんと同じように国立高専で学ぶ学生数は約5万1,000名で、日本の国立高等教育機関としては、東京大学の約2万8,000名を凌ぎ、国内最大規模の学校です。そして、高専の重要性は、近年より増しており、高専の機能強化により高専機構全体の入学定員を増やしています。また、徳島県に私立の高専が設置され、滋賀県などで新設の動きも加速しています。さらに、日本だけに止まらず、タイ、モンゴル、ベトナムには高専が設立され、エジプトにも導入されつつあり、高専はKOSENとして国際的な教育制度になってきています。このように高専教育の重要度が増す中で、本校もしっかりと進化を続けています。

本校は、令和3年4月に、既設の五学科体制から、一学科・五コース制の「総合工学科」に改組しました。時代の変化と技術の急速な進歩に対応すべく、教育内容の高度化を図り、かつ、地域の課題等をテーマとした課題発見・解決型教育やデジタルトランスフォーメーション時代を迎えた今日、人工知能AIや膨大なデータを処理するデータサイエンスなどを全学生が学べる、数理・データサイエンス・AI教育を文部科学省の認証を受けて実施しています。これらを通じて、複眼的視野と幅広い知識をもち、自らの専門分野に異分野の知識や技術を融合して、新たな社会的・経済的価値を創出することができる総合力を備えた優秀な人財を養成することを目指しています。本年度入学する一年生は、総合工学科の五期生になり、全学年が揃う完成年度になります。

そして、本校の学生は、様々なコンテストや大会等に出場し、多くの優秀な成績を挙げています。その背景には、高専で培われた技術とマインドがあります。高専の卒業生で東京工業大学の学長を昨年まで務められた益一哉先生は、「高い志を持って、様々なことへのチャレンジ精神旺盛なことが高専生の素晴らしい点である」と述べています。皆さんも「学生」としての自覚と高い志を持って、自ら主体的に行動する習慣を身につけてください。

令和6年度に創立60周年を迎えた米子高専をこれまでに巣立った卒業生は、技術者や研究者として企業、大学・高専、自治体などの幅広い分野で活躍し、我が国の産業・経済など社会の発展に大きく貢献しています。そして、社会からの本校卒業生の評価は極めて高く、近年の求人倍率が約30倍であることや、国立大学大学院と推薦入試に係る連携協定を締結するなどの状況に表れています。入学される皆さん全員が、社会から大きく期待されている人財であり、本校での様々な活動を通じて、大きく成長することを願っています。



校長式辞の様子



入学式の様子

年度はじめにあたって



教務主事 青 砥 正 彦

AI技術は急速に進化し、多くの分野で活用されています。しかし、その進歩の中でも、AIにできないことがあります。それは「人間としての判断」や「他者への深い共感」、そして「新しい価値を創造する力」です。AIは過去のデータに基づいて動きますが、皆さんは未来を切り拓く存在です。正解のない問題に対して、自ら考え、選択し、責任を持つのは人間だけに許された力です。これからの時代、AIと協働する場面は確実に増えていきます。その中で主役であり続けるためには、人としての思考力、倫理観、創造力を磨くことが不可欠です。そして、皆さんはその力を身につける場として、高専という実践的で高度な学び舎を選びました。高専生として、技術と知恵の両輪を大切にしながら、誇りを持って日々の学びに取り組んでください。今年一年の皆さんの成長に、大いに期待しています。



学生主事 田 中 晋

今年度から学生主事を務める田中です。年度初めに学生の皆さんには、2つの想像力を持って欲しいと話しました。1つは「周囲への想像力」です。無意識に周りの人を傷つけるような発言や行動をしてないか考える力です。SNSでの発言なども同様です。目に見えない困りごとや感情により一層、気を配ることができる人になってください。もう1つは「将来の自分への想像力」です。思い描く将来の自分に辿り着くために、今、何をしなければいけないか想像してください。勉強はもちろん、生活の中で正しい判断ができることも大切です。その指針となるのが「学生便覧」の学生心得です。保護者の皆様にも、身だしなみやアルバイトなどに関する部分を、今一度、ご確認いただけますようお願いいたします。学生便覧は米子高専ウェブサイトの「学生生活・進路」に掲載しています。よろしくお願いいたします。

学生相談室のご案内

学生相談室長 新 田 陽 一

本校には、学生一人ひとりがよりよい高専生活を送れるようにサポートする学生相談室があります。学校生活や友人関係、勉強や進級の問題、就職・進学など将来について、また、ストレスからくる不眠・体調不良の悩みなど、各種の相談に応じています。本年度は以下のスタッフで業務にあたりますので、よろしくお願いいたします。

学生相談室長	新 田 陽 一	(電気電子部門)
学生相談室員	磯 山 美 華*	(化学・バイオ部門)
看 護 師	上 本 菜々実	(保健室)
インテーカー	山 田 香 子	(学生相談室)
校外カウンセラー	竹 崎 摩 由	(臨床心理師・公認心理士：月3回程度・水曜日)
	伊 藤 政 志	(臨床心理師・公認心理士：月4回程度・金曜日)
	福 崎 俊 貴	(臨床心理師・公認心理士：月2回程度・火曜日)
	仲 田 美 紀	(臨床心理師・公認心理士：月1回程度・月曜日)
スクールソーシャルワーカー	廣 江 仁	(月3回程度・木曜日)

*本年度より担当

保護者の皆様におかれましても、「子供の様子がおかしいが尋ねても話してくれない」場合など、相談室への相談をご検討ください。ご来校いただくのが難しい場合は、下記連絡先までお電話やお手紙をいただければ対応いたします。

【宛 先】 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町 4448 米子工業高等専門学校 学生相談室

※返信先のご住所とお名前をご記載ください。

【電話番号】 0859-24-5262 (直通) ※平日 11:15~17:00

地域に支えられる総合工学科

総合工学科長 川 邊 博

今年度ははじめて全学年が総合工学科で揃う完成年度です。総合工学科への改組の大きなねらいは、専門分野の壁を越えた、技術や知識の融合によって新しい価値を生み出すことにあります。米子高専は技術で地域から信頼されて発展してきました。一方で、医学が盛んな地米子において、地域で発展させるべき技術の方向性は医工連携という流れがあります。いうまでもなく、医工連携は他の高専にはない米子高専の特色となり、米子高専の技術を活かす新分野となります。これを踏まえて、4・5年生のカリキュラムの中には医工連携の科目や地域の企業と連携する科目が用意されています。

医工連携関連科目の一つは4学年後期に開講される「生体工学基礎」です。この科目を、今年度は、本校学校医の水田栄之助先生に企画していただけることになりました。水田先生は山陰労災病院の循環器内科がご専門の医師で、ご自身も、医学の視点からアカモクうどんの商品開発に取り組まれ、専門領域を越えた活躍をされています。「生体工学基礎」は水田先生のほか、リハビリ、臨床工学技士、放射線技師など山陰労災病院のスタッフの方々や、県産業技術センター、県西部消防の方々が交替で講義を担当される予定です。医療

現場の専門家の声を直に聴くことで得られるひらめきが、将来実現すべき「夢」につながれば、と願います。現場で活躍する人が器具や技術の改善を待望する、裏を返せば、今後急速に発展し得る分野で、実現を約束された将来をイメージする貴重な学びといえます。

また、総合工学科の2・4年生の、多様な専門の学生たちがグループになって活動を通して学ぶPBLは、一つに絞れない解を求めて議論を繰り返し、解決策を模索する授業で、教え合いが得意な高専生の能力をさらに磨く科目です。今年度は、この授業に約50の地元企業からメンターとして参加していただき、各企業がもつ課題を学生と共に考えることになっています。学生は、実社会や地域の現場に近い課題に接することで、机上の枠を抜け出し、現実と向き合うことになります。企業の力になりたい、社会の改善に貢献したい、という意気込みをもてば学び甲斐が何倍にもなることでしょう。今回のメンター制度は学生の地元定着を課題とする鳥取県と、県内企業の協力があって実現したものです。

米子高専が、以前にも増して地域からの期待を受けていることを、授業を通して感じます。



本校学校医 水田栄之助先生



アカモクうどん



PBL 授業のようす

高専生活の第一歩を大切に

1年学年主任 電気電子部門 権田 英 功

米子高専に入学した皆さん、ご入学おめでとうございます。1年生は、高専生活の土台を築く大切な時期です。勉強面では基礎科目をしっかり身につけることが今後の専門学習に繋がります。また、部活動やクラス活動にも積極的に参加し、人間関係の輪を広げてください。わからないことがあれば、先生や先輩に遠慮せず相談することが大切です。失敗を恐れず、何事にもチャレンジする姿勢を持ちましょう。高専は自由度が高い分、自分の行動に責任が伴います。自律心を育てながら、楽しく充実した1年を過ごしてください。自分の可能性を信じて、一歩ずつ成長していきましょう。

1年1組

高専での新しい生活

坂 田 憩

入学当初は、広い校舎内やさらに広い敷地で迷いながら自分の教室を探し、とても苦労しました。また中学の時のように職員室のような場所がなく、先生それぞれ研究室があり、場所もバラバラなのでとても混乱しました。

授業では、数学の進むスピードの速さやセグウェイに乗ったことなどが、印象に残っています。まず、数学では毎回どんどんと新しいところをするので復習がとても大切ということが改めてわかりました。工学基礎実験ではセグウェイに乗ったり、ドローンを操作したり、毎回新しいことができてとても楽しいです。

体育祭では、コップリレーで歩く赤組の先輩や、中身を無視して全力疾走する先輩が印象に残っています。来年はもっと多くの人と関わりを持ち、体育祭をもっと楽しみたいです。

これからも様々なイベントやハプニングがあると思いますが、クラス全員で協力して乗り越えていきたいです。



高専祭（体育の部）、クラス一丸となって取り組みました

1年2組

高専での新たな生活

鷲 見 きいろ

高専入学後の生活は、新しい環境に慣れることから始まりました。修学ガイダンスでは、学校のルールや設備について説明があり、これからの高専生活への期待が高まりました。

学校の印象はとても良く、施設が充実し、活気に満ちた雰囲気がありました。部活動見学へ行くと先輩方が温かく迎え入れてくださり、先生方も親切で、不安な気持ちが少しずつ解消されました。また、授業も中学校とは異なり、より専門的な内容に変化し、学ぶ楽しさを改めて実感しました。

クラスの仲間ともすぐに打ち解けました。クラスに対し多少不安な部分もありましたが、LHRなどを通じてお互いのことを知る機会が増え、体育祭では仲間を応援し、協力し合うことの大切さを学びました。これから5年間、この仲間とともに成長していくのが楽しみです。期待と希望を胸に、新しい挑戦に向かって頑張りたいと思います。



1年2組

1年3組

米子高専に入学して刺激を受けたこと

山 本 咲 獅

高専生活で私が最初に抱いた印象は、兎に角にも自由だということです。全員がそれぞれ個性を出して生活できる環境は、自分にとっても周りにとっても良い影響を与え合い、いい循環を起こしていると感じています。ですが、ただ、好き勝手いろいろなことをやっているわけではなく、きちんとメリハリを付け、生活しています。このような経験は普通科高校では絶対に出来ないと感じていますし、米子高専に来て本当に良かったと感じています。また、先生方もそれぞれ各分野の専門家なので他の学校に比べてより深く詳細な知識を得ることができます。私はまだ1年生ですが、今後の4年間で楽しみで仕方がありません。部活動においても、他の学校よりも長く現役でいられるし、まれにはありますが、4年生や5年生などの歳の離れた先輩ともプレーできるのでよい刺激になると思っています。先日行われた体育祭でも高専の自由な部分が溢れていて他の学校で経験できないようなことをしているという気持ちと同時に高専に入学して本当によかったなという気持ちを改めて認識できました。



1-3集合！

1年4組

始まりの1ヶ月

石 川 潮 苗

高専に入学してから、早くも1ヶ月が経ちました。
入学当初は、初めての経験ばかりで、緊張や不安もありましたが、周りの友達が笑顔で声をかけてくれたおかげで、先生方が様々なところで、私達を支えてくださったおかげで、少しずつ、生活にも慣れ、米子高専の学生であるという、自覚も芽生えてきました。
クラスには、いつもとても温かい雰囲気が広がっていて、こんな素敵なクラスに居られる私は本当に幸せ者だと日々実感しています。
また、先日行われた「高専祭 体育の部」では、先輩方のかっこいい背中を沢山拝見させて頂くことが出来、私達も、あの素敵な先輩方の様な姿になりたい！と強く実感しました。
まだまだ序章に過ぎない、学校生活ですが、1日1日を大切に、感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきたいと思います。
クラスの皆さん、改めてこれからよろしくお願いします。



1-4集合写真

1年5組

入学後の生活

赤 井 理 紗

入学から早くも1ヶ月が過ぎ、高専生活にも慣れてきました。入学してから1～2週間は新しい生活についていくのに精一杯で、不安なことも多くありましたが、徐々に心に余裕が持てるようになり、クラスメイトと話す機会も増えてきました。最近となっては、放課後になると教室で話している人や勉強している人の声が聞こえてきます。体育祭でもクラスTシャツを作ったり、みんなで応援をしたりすごく一体感が感じられました。とてもクラスの雰囲気が良く楽しい高専生活を過ごせていると思います。
これから、自分の志望しているコースに入れるように日々勉強を頑張っていこうと思います。中学校よりも授業の進むスピードがはやく、教科数も多いのでついていけるように少しずつ努力していきます。また、まだ高専生活に慣れていない部分もあるので試行錯誤しながら慣れていこうと思います。



担任「心キュンキュンしてます！」 高専祭（体育の部）

3年学年主任のあいさつ

3年学年主任 化学・バイオ部門 藤井 貴 敏

3年生は各コースに配属されてから初めて同じ教室で全ての授業を受け、日々の生活を共にしています。4月当初は学生同士でまだ名前すら知らないこともありましたが、休み時間の会話や授業を通じて、すぐに仲良くなっていく様子が見受けられました。

5月14日には高専祭の体育の部が開催されました。同じクラスの学生たちが一生懸命に声援を送る姿を見て、クラスの絆が自然と深まっていると感じました。この絆を大切に、試験やレポートの際にもお互いに助け合いながら、協調性やコミュニケーション能力をさらに磨いていってほしいと思います。

3年生は秋に工場見学旅行を控えており、将来の進路を決めるための貴重な機会となるよう、現在準備を進めています。旅費等でご負担をおかけすることもあるかと思いますが、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

3M

機械システムコースの印象

鐘 築 昇太郎

こんにちは。3Mの鐘築です。私は将来、スマートフォンやタブレットといったデバイスの設計に関わる仕事に興味があり、製品への組み込みで必要となる最低限のプログラミングを学びながら、機械設計等のより幅広い知識を身につけるために機械システムコースを選びました。

授業では、機械や制御、材料など様々な分野を学ぶことができ、多くの新しい概念に触れることができます。覚えることも多いですが、理解が深まったときの達成感は大きく、学ぶことの面白さを日々実感しています。クラスの雰囲気は明るく、先生方との距離も近いので、わからないことがあってもすぐに相談でき、安心して学べる環境です。仲間同士の交流も多く、毎日楽しく過ごすことができます。僅かながら、機械システムコースについて知っていただくと幸いです。



実験実習の様子

3E

3Eで過ごす、かけがえのない時間

上 阪 彩 子

電気電子コースでは、電気・情報・通信をはじめとした幅広い分野を学ぶことができます。3年生になってからは専門性の高い授業が増え、教科同士のつながりを発見する機会も多くなり、視野がもっと広がったと感じています。内容が難しい分、理解できたときの達成感もひとしおです。就職や進学にも有利で、先生方が「E（良い）コース」と口を揃えておっしゃるのも納得のコースです。中でも、私たち3Eは団結力の高さが自慢です。先日の体育祭では、クラスオリジナルのTシャツを制作して、大いに盛り上がりました。胸元には、電球をモチーフにした「良い（E）コース」のロゴをデザイン。体育祭当日だけでなく、授業中に着てしまう生徒がいるほどの好評でした。そして何より、私たちを温かく見守ってくださる担任の先生の存在も、3Eの大きな魅力の一つです。私は、3Eが大好きです。



体育祭集合写真

3J

Jコースに配属されて

山 名 有希人

私は情報に興味があって高専に入学しました。入学後、情報システム研究会での研究活動や、ハッカソンでチーム開発を経験する中で「この技術はどうやって動いているのだろう？」と疑問に思うことが多くありました。しかし、3年生になり増えた専門科目で少しずつ解消されていきました。例えば、プログラムがどのように内部で動いているかわかったり、実際の信号波形を観測して素子の動きを理解したりと、漠然としていた疑問が「この技術はこんな仕組みだったんだ！」と理解が深まる瞬間があり、その発見の喜びが今の授業の楽しみとなっています。今後は授業で基礎知識をさらに深め、ロボコンや学会発表といった課外活動で活かしていきたいです。



体育祭での集合写真

3C

コース配属されて

平 沢 理 緒

Cコースは女子が多いと思っていましたが、実際に教室に座ると、男子と女子の人数がほぼ同じで驚きました。3年生になると実験やレポートが増え、部活動との両立が難しいと思っていましたが、授業の空き時間を活用すれば両立できそうで安心しました。また、クラスの雰囲気に馴染めるか不安でしたが、男女ともにフレンドリーで会話も多く、勉強熱心な人が多いのでわからないことを優しく教えてもらえます。専門科目は教科数や内容が増え難しくなるため、予習・復習が重要だと感じています。1、2年生のうちに勉強習慣をつけておいてよかったです。これからはクラス替えがないので、実験や学校行事を通して多くの人と仲良くなりたいです。勉強と遊びの両立を大切にして、充実した学校生活を送りたいと思います。



体育祭での集合写真

3A

3年生になって

井 上 真 緒

3年生になって一番の変化だと思うのは、専門教科数の違いです。2年生までの専門教科は、週に数回しかありませんでしたが、3年生となり、本格的に建築についての授業が増えてきました。製図の授業では、自分で一から考え、課題にそったものを作り出すのは難しいと思うこともありますが、自分の思いを表現でき、とても楽しいです。友達との意見交換も、自分にはない意見があり、学びになります。座学では、聞きなれない単語が多く、今までにない考え方をすることもあるので、理解しきれないこともあります。知らないことを学んでいくことで自分の夢に一步步近づいていけていると思うとこれからも頑張っていこうと思えます。クラスの雰囲気も良く、困ったことをすぐに聞きあえる環境があり、これから5年生までともに過ごしていけることが嬉しいです。



高専祭体育の部で黄組優勝！

留学生

米子高専で学び始めて

3年化学・バイオコース カオファン

こんにちは。カオファンと申します。タイのナコンサワン県から来ました。今年で18歳になります。日本に来る前は、タイのKMUTT高専でバイオエンジニアリングを2年間学んでいました。日本に来てからは、分からないことや困ったこともたくさんありましたが、先生や職員の方々、クラスメート、そして周囲の皆さんにいつも助けていただいています。とても感謝しています。毎日新しいことを学ぶことができ、とても楽しいです。これからもこのような日々が続いていくことを願っています。勉強は難しく大変なこともあります。一生懸命頑張っています。これからの3年間、どうぞよろしく願いいたします。



タイでの名前はバックラバット
グムドゥアンです。

4年次編入学生

4M 沼田 紅葉

私は高校で学んできた機械分野の知識と技術をより深く学び、一つでも多くの資格を取得したいという思いから、米子高専機械システムコースへの編入を決意しました。これからは専門的な内容も多く、テストや課題、レポートなどでむずかしさを感じるものがたくさんあると思いますが積極的に仲間や友達を増やしていき、ものづくりの楽しさ、力をしっかりと身につけていきたいです。授業や実習で前向きに取り組む目標に向かって努力を重ねていきます。

二年間よろしく願いします。

専攻科

専攻科での学びについて

S1 河 崎 舞（建築学専攻）

私は現在、建築士の資格取得に向けて、日々勉学に励んでいます。さらに、本科からの引き継ぎとして、特別研究にも引き続き取り組む予定であり、今後2年間、より深く専門的な学びを続けていきます。また、研究内容は地域のまちづくりに関わることを行っており、その地域ならではの課題を少しでも解決し、貢献できるように努力したいと思います。

専攻科での学生生活は、就職活動に向けた準備などで忙しい毎日になると思いますが、その中でも学びや人との関わりを大切にしながら楽しみたいです。

.....
専攻科生活のはじまり

S1 吉 田 早 耶（物質工学専攻）

新たな学びを求めて、専攻科での生活が始まりました。より専門的で深い知識に触れながら、自分の興味や関心を掘り下げていく日々は、とても刺激的です。これからの時間を大切に、丁寧に積み重ねていくことで、少しずつでも確かな成長につなげていきたいと思っています。

.....
迷った末に見つけた進路

S1 高 井 大 和（生産システム工学専攻）

本科4年生のとき、私は卒業後の進路として「大学に編入するか」「専攻科に進学するか」で迷いました。どちらも魅力的でかなり迷いましたが、専攻科への進学を選びました。なぜなら、本科5年生で取り組んでいた卒業研究を、今までと変わらない環境で続けたいと考えたからです。専攻科では、これまでと同じ環境で研究を継続できるため、より集中して自身の研究に取り組み、専門性を高めていきたいと思っています。専攻科は2年間しかない短い期間ですが、研究や勉学はもちろん、友人と学生生活を楽しみながら充実した日々を過ごしていきたいです。



令和7年度 専攻科 1年

新任教員の紹介

教養教育部門（英語） Sean McPhail（マックフェル ショーン）

My name is Sean McPhail and am thrilled to join the team at 米子高専. I'm from Australia and Canada and teach 3rd, 4th, and 5th-year students general, practical, and communicational English. In my classes, students explore global perspectives and actively use English. The goal is to help them build skills and confidence to communicate across cultures and borders. Hopefully students get inspired to learn English and embrace the diverse and exciting world around them.



はじめまして

教養教育部門（体育） 岡村果琳

今年度より教養教育部門に着任しました、岡村果琳と申します。授業は、健康・スポーツ科学Ⅱ・Ⅳ、健康科学特論を担当しています。出身は広島県広島市ですが、昨年度まで米子市内の私立高校に勤めていたため、米子は9年目になります。授業を通じて、運動技能の向上だけでなく、他者と関わり合うことで得られる楽しさを伝えていけるように頑張ります。



建築デザイン部門 加藤智治

建築デザイン部門に着任しました、加藤智治です。授業では建築構造を担当しています。大阪生まれで、大学から広島に移り、今回初めて米子で生活することになりました。自然の多い環境に新鮮さを感じています。研究では、鋼構造物の寿命向上に取り組んでいます。構造の安全性と実用への応用を意識し、授業を通じてその魅力を伝えていけるよう努めてまいります。



新任教員の紹介

機械システム部門 坂口優希

今年度よりお世話になります機械システム部門の坂口 優希です。専門は流体力学で、特に回転を伴う流体機械の研究をしています。熊本県出身ですが米子高専の卒業生です。大学院修了後は、熊本県の中高一貫校で、技術・機械・物理の教員をしていました。趣味は機械が好きなので、バイクに乗ることです。皆さんと一緒に機械を学ぶ楽しさを共有できたらと思います。これからよろしくお願いいたします。



着任のご挨拶

教養教育部門（数学） 成田知将

今年度から米子高専に着任した成田 知将と申します。数学を担当します。前年度は名古屋市立大学で非常勤講師をしました。また、東京の進学塾で4年間アルバイトをしたことがあり、その際多くの受験生を早稲田大学などの名門大学に合格させました。それらの経験を生かして、授業を受け持ったすべての生徒に学習習慣を身に付けさせ、定期試験で良い点が取れるように精進します。よろしくお願いいたします。



教養教育部門（数学） 米原修平

このたび教養教育部門（数学）の助教として着任いたしました米原修平と申します。私は、解析力学に起源をもつ「シンプレクティック幾何学」という分野を研究しております。米子高専の学生のみなさんが数学をツールとして活用し、そして数学を通して心を豊かにしていけるようサポートしていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



キャリア支援室

キャリア支援室長 大塚 宏 一

キャリア支援室は工場見学、就業体験（インターンシップ）、進路研究などの機会を提供し、学生一人ひとりが自分のキャリアについて自律的に考え、選択していけるように、また望ましい職業観、勤労観を持つことができるように支援を行なっています。2024年度以降の就職・採用活動からは一定の条件を満たしたインターンシップで取得した学生情報を企業が採用に活用しても良いことになっており、インターンシップでの学びや取り組みがさらに大切になってきています。キャリア支援室では、インターンシップ参加学生向けのセミナーの案内などについても積極的行なっています。

米子高専のキャリア支援

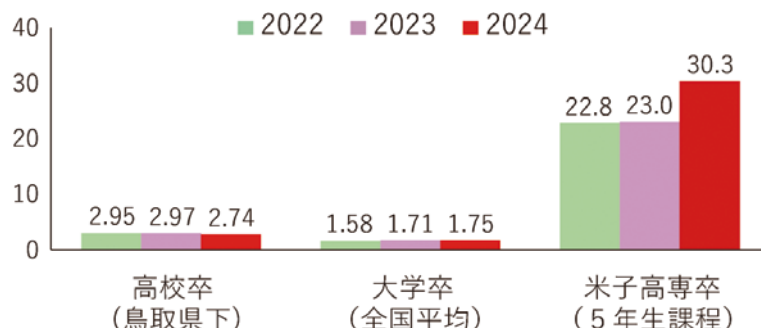
米子高専のキャリア支援は、1年生の地元企業見学、2年生の地域学（米子高専振興協力会企業見学）、3年生の工場見学旅行（県外企業見学）、4年生以上のインターンシップ（就業体験）や進路研究セミナーの開催、また労働法制及び社会保険制度を学ぶための講演会の実施など、学生の適性や希望に応じた多様な進路選択のため、卒業生や同窓会と連携し、低学年からのキャリア教育を推進するとともに、企業情報、就職・進学情報の提供を含めたキャリア形成に資する体制がとられています。

キャリア支援体制

専攻科2年	進路指導	資格取得支援
専攻科1年	インターンシップ（10日間）	
	共同研究等（特別研究指導）	
本科5年	進路指導、共同研究等（卒研）、講演会など	資格取得支援
本科4年	校外実習（インターンシップ5日間） 進路研究セミナー（企業・大学合同説明会）など	
本科3年	工場見学旅行（県外）など	資格取得支援
本科2年	校外研修旅行（地域学：山陰の企業見学）など	
本科1年	地元企業見学など	

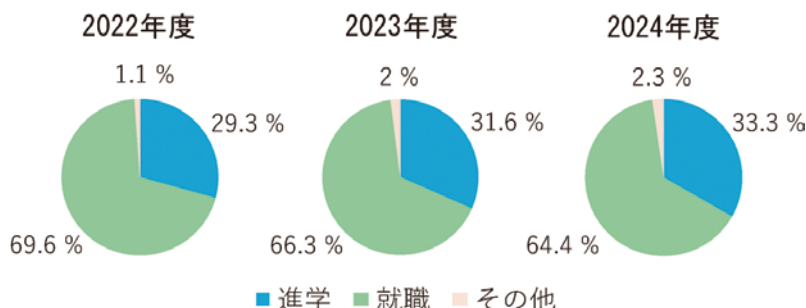
本科求人倍率の推移

求人倍率 30.3 倍と好調を維持しています。



進学・就職の割合（5年生）

2024年度の大学・専攻科進学率は33.3%でした。



『とっとりインターンシップ』の助成制度について

令和7年度からとっとりインターンシップに参加する全ての学生の県内移動費・宿泊費について、補助額が引き上げられ、上限で6万円まで助成が受けられることになりました。助成を希望する学生は、各自にて申請を行ってください。詳細は、とっとりインターンシップのホームページをご覧ください。

学生会の活動紹介

学生会長 4E 高見 航 生

平素より私たち学生会の活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。学生会は、各種学校行事の企画、運営や、学生会費の適正な管理など、より良い学校生活の実現を目的とした活動を行っています。先日開催した体育祭においては、学生会が中心となって準備、運営にあたり、当日に至るまで様々な困難がありましたが、無事大きなトラブルもなく完遂させることができました。また、後期には高専祭の実施を予定しており、例年同様、一般の方々の入場も可能となる見通しです。ぜひご期待いただければと思います。

その一方で、学生の皆さんから「学生会は何をやっているのか分からない」という声を頂くことが多くあります。そのため、今年度の学生会の活動指針の1つとして、「学生会と学生の距離を縮める」というテーマを掲げています。学生のニーズを的確に汲み取ることはもちろん、学生会は日頃どのような業務を行っているのか、どのような学校づくりを目指しているのか、といった内容の発信を積極的に行います。学生の皆さんに、学生会という組織をより身近に感じていただくことが、学校行事、学校生活の更なる質の向上へと繋がります。学生の皆さんが「高専でよかった!」と思える学校づくりを目指し、日々尽力してまいります。



役員認証式での集合写真



今年度の体育祭の様子



昨年度の高専祭の様子

学生の活躍

ISEF（国際科学技術フェア）2025 を終えて

B&C 研究同好会 3C 平尾 瑞姫

私たちの研究では、従来の固体高分子型燃料電池では難しいとされている中高温領域での動作が可能な燃料電池の開発を目標に研究を行っています。今回の研究は2024年の9月から始動し平日の放課後や土曜日、長期休み等の時間を使って3人で毎日のように実験を行うことにより成果を得ました。3人で実験を進めていく際に意見の衝突も起こりましたが、多くの実験を繰り返し得た結果から考察をしていくうちに話し合いも筋のあるものへとまとまりました。また、先生には研究に対する向き合い方や手順等のアドバイスをいただき、自分自身でも研究を通して、成長していくのを感じました。

ISEFに出場するにあたり、自らの課題と向き合うことが多くありました。アメリカでの審査会では緊張と期待が混ざりあっていましたが発表は楽しく、笑顔で行うことができました。残念ながら入賞には至らず、自らの力不足を思い知りましたが、初めての国際的な場での発表は、私の人生においてとても貴重な経験となりました。研究はたくさんの方々の支援、ご協力があってこそその成果であると感じております。ありがとうございます。

今回の経験を糧に研究への取り組み方、研究をより多くの人に伝え、未来を明るくするために、今後も研究に励んでまいります。



発表の様子

【科学部】 令和7年度高専機構学生表彰理事長特別表彰を受賞！！

科学部 5M 吉田 浩瑛

私たち科学部は、令和7年度高専機構学生表彰理事長特別表彰を受賞しました。このような賞をいただけたこと、科学部一同、大変光栄に思っております。この場をお借りして、ご支援くださった皆様に心よりお礼申し上げます。

科学部では分光器の開発に取り組んできました。開発した分光器は、導入に要する費用が他の分光器と比較して安価であるにもかかわらず、既成品の2～3倍の性能を持ちます。

この成果をJSEC2023で発表したところ、日本代表として、アメリカで開催される「リジェネロン国際学生科学技術フェア2024」に出場する機会を得ました。同大会では優秀賞4等を受賞し、この受賞を受けて文部科学大臣表彰もいただきました。他にも、分光観測のための較正モジュールの開発をするなど、この1年で様々な成果を挙げることができました。

先日行われた理事長特別表彰受賞式では、理事長に私たちの取り組みを讀えていただき、直接表彰をいただきました。全国からの学生と懇談、大きな刺激を受けるとともに、社会課題を解決できるような技術者になりたいという思いを強くしました。

これからも科学部は研究開発に励んでまいります。引き続きご支援賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



表彰式の様子



リジェネロン国際学生科学技術フェア（ISEF）にて

今年度の国際交流支援室の取り組みについて

国際交流支援室

米子高専国際交流支援室では、国際社会で活躍できるグローバルエンジニアの育成を目的とした各種国際交流プログラムを積極的に実施しています。夏休み中は、以下の海外研修を本校主催にて実施する予定です。

インドネシア研修	2025 年 8 月 10 日～19 日
韓国研修	2025 年 8 月 20 日～25 日／9 月 10 日～15 日
マレーシア研修	2025 年 9 月 1 日～9 月 9 日

上記のプログラムの参加募集は受付終了しましたが、春休みに実施する海外研修も計画中です。詳細が決まりましたら、Teams とさくら連絡網でご案内いたしますので、国際交流活動や海外研修に興味のある方はぜひ参加をご検討ください。

また、学内においても国際的な活動を支援するため、夏休み期間中には協定校の学生を招聘して実施する国内プログラム「KOSEN Global Camp in Yonago」を開催します。さらに、放課後英会話教室（English Café）や TOEIC 対策講座、英語による授業なども実施し、学生の英語力向上を図っています。

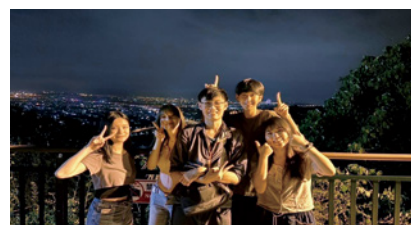
放課後英会話教室は、主に毎週木曜日の放課後に Sean 先生と行う英会話のクラスです。事前の申し込みは不要で、本校の学生であればどなたでも自由に参加できます。英語に親しむ良い機会ですので、ぜひお気軽にご参加ください。



マレーシア研修



インド研修



台湾研修

地域創生テクノセンター

地域創生テクノセンター長 玉井孝幸

令和6年度より、テクノセンターは、「地域創生テクノセンター」と改称しました。これまでの「地域共同テクノセンター」と「医工連携推進センター」を統合し、工学の分野にとどまらない複合した分野を対象とし、地域の団体、企業と共に産学官の交流や連携活動を通じ、教育・研究活動及び地域貢献の活性化に務めています。

また、200社を超える振興協力会の会員企業とともに、学生に向けて、ロボコン、プロコン、デザコンをはじめとする各種全国大会参加への補助、「企業ガイドブック」の配布、2年、4年生の「PBL I・II」では企業メンターを集めるなどを行っています。

広報室からのご連絡

広報室長 原田 篤

①米子高専公式ホームページ

米子高専が配信する情報は公式ホームページの Information をご覧ください。学生・教職員の活躍や入試情報もこちらで配信しております。

米子高専公式 HP の URL <https://www.yonago-k.ac.jp/>

②米子高専 知的セミナー

米子高専の教職員の教育や研究に関わる知的なトピックを紹介する5分の番組です。地上波・中海チャンネル121およびCATV・332チャンネル（県民チャンネル）で放送されています。また、鳥取県民チャンネルコンテンツ協議会のHPやYoutubeで視聴することができます。学生さんが番組内で喋ることもありますので、ぜひご覧ください。

米子高専知的セミナーの URL https://tottorikenmin-ch.com/archives/movie_type/kosen

卒業生は今 vol.35



仲田達也(なかつ たつや)

2010年04月 株式会社銭高組 入社

2014年10月 関電ファシリティーズ株式会社 入社

2022年01月 森ビル株式会社 入社

■森ビル(株)はどのような会社でしょうか？

森ビルは都市再開発事業などを手がける総合ディベロッパーです。東京都港区を中心に、六本木ヒルズ、麻布台ヒルズ、虎ノ門ヒルズ、アークヒルズなど、多くの「ヒルズ」プロジェクトを展開しています。細分化された土地を集約し、超高層タワーなどに多様な都市機能を垂直方向に集約する「Vertical Garden City」という手法でコンパクトシティを創り、竣工後も地域や来街者の皆さんと街を育み、価値を高めるのが特徴です。

■現在はどういった業務をされていますか？

不動産事業をオフィス、住宅、商業施設の3つに大別する中で、私は商業施設部門において、店舗入居工事(設備・内装共)を担当しています。商業施設は、多くのお客様が利用される場であり、街の顔ともなる重要な分野です。お客様目線で安全安心かつ魅力的な、満足いただける店舗空間づくりに注力しています。店舗の設計者や施工者に対してルールや規則の周知・指導を行い、スケジュール通り工事を終え店舗がオープン出来る様、関係者と連携し設計や施工上の課題解決や各種要望への対応に取り組んでいます。

■仕事のやりがいについて教えてください

私はこれまで建築関係の会社で施工管理として3社に勤務し、新築工事や維持管理(改修工事)さらにディベロッパーでの経験を積んできました。立場や業務内容に多少の違いはありますが、どの会社でも携わる仕事にやりがいは変わらず感じています。建築は、世間でもよく言われるように、目に見える「形」として残る仕事です。工事の過程では、さまざまな課題や予期せぬ事案に直面することも多く、大変な苦労もあります。それでも無事に工事を引き渡した際に、発注者や関係者の喜びやねぎらいの言葉をいただいたり、完成した建物や施設が多くの方に快く利用されている様子を見ると、この仕事に携わって良かったと実感します。

■後輩たちへのアドバイスをお願いします

この「卒業生は今」を私に依頼してくださった研究室の恩師である玉井先生とは、卒業後十数年が経っても連絡をする関係で、二人ペアでゴルフを行った回数はOBの中で一番多いと思います。高専時代に築いた人間関係は、今後も長く続きますし助け合えることが出来ます。ぜひお世話になっている先生方や同級生を大切にしてください。

私自身、キャリアを積んでいく中で、一級建築士という専門的な資格を取得した事が大きな転機となりました。資格を取ることがすべてではありませんが、若いうちは何事にもチャレンジできる時期でもありますので、資格に限らず、興味のある分野で失敗を恐れず行動することが大切だと思います。そして、皆さんの心に秘めた「ものづくり・コトづくりが好き!」という熱意が、さまざまな業界で力を発揮し、ご活躍される事を心から期待しています。



店舗開業時の状況



現場のチェック状況(右が仲田)

※記事において、学科等の名称をアルファベットで表記している箇所があります。

M…機械工学科(機械システムコース)、E…電気情報工学科(電気電子コース)、D…電子制御工学科、J…情報システムコース、C…物質工学科(化学・バイオコース)、A…建築学科(建築デザインコース)、G…教養教育部門、S…専攻科
例えば、「2-1(M)」は2年1組機械システムコースの学生を表しています。

発行：米子高専広報室

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448 TEL: 0859-24-5000 FAX: 0859-24-5009

ホームページ: <https://www.yonago-k.ac.jp/>

PDF印刷: 勝美印刷株式会社



ISSN 1344 - 5634

米子高専図書館報
第123号

令和7(2025)年6月 発行
米子工業高等専門学校図書館

図書館の業務

図書館では、図書カウンター業務（貸出および返却手続き）のほか、各種統計・調査・照会、図書発注、図書・雑誌の受入および登録、蔵書点検、文献複写依頼受付、卒業研究（学術情報リポジトリ）、電子ジャーナル、研究報告の発行などの業務を行なっています。

また、ビブリオバトルやブックハンティングなどの各種イベントも主催しています。

図書館スタッフ紹介（図書館カウンター）

図書館カウンターでの貸出・返却や書架の整理などを担当しているスタッフを紹介します。図書や雑誌を借りたり、本の所在を尋ねたりする際、気軽に声をかけてください。

学術情報係



木 梔 花梨奈

はじめまして！4月から高専図書館で勤務しています、木梔です。

学校の図書館での勤務は初めてで、毎日が新鮮でたくさん刺激を受けています。

最近読んだ本の中で、おすすめ本を紹介します。

田村雅智さんの『おとぎカンパニー』シリーズです。なんと、皆さんが小さいころ読んだことのあるおとぎ話や昔話が現代風にアレンジしてある短編集です。読んでみてからの楽しみですが、このシリーズを読むと原作を読み直したくなると思います！

高専図書館で探している本がない場合、公共図書館（県立図書館や米子市立図書館）からお取り寄せができますので、お気軽にご相談くださいね。

福 原 佳 奈

こんにちは福原と言います。

四季の中で、春と、秋が自分の中で、読書をしたくなるシーズンです。本屋さんも好きですが、断然、市立図書館に足を運ぶ方が好きです。ふとした出会い、気づきなど、外壁沿いに植えてあるお花がきれいだな～とか、小さな喜びを感じ、行って良かったと毎回思います。

高専図書館は、専門書が多く、少し古い本も多いかと思いますが、学生の皆さんにとって、少しでも、役立つ様、カウンター業務をしていきたいと思いますので、宜しくお願いします。

専攻科生

専攻科の学生にもカウンター業務（図書の貸出および返却）や書架整理を手伝ってもらっています。高専のことを良く知っている先輩ですので、気軽に声をかけ、いろいろ相談してみてください。

S 2 伊藤直人

S 1 河崎舞

S 1 濱崎大志

S 1 吉岡伊代

S 1 谷野彼方

図書館スタッフ紹介

図書館の運営に当たる教職員です。よろしくお願いします。

図書館長 渡邊健（教養教育部門）

副館長 藤田剛（機械システム部門）

学生課長補佐 小村浩史（学術情報係長併任）

図書委員の紹介

今年度の図書委員を紹介します。5月20日に第1回図書委員会を開催して、委員長、副委員長を選出し、今年度の活動計画について話し合いました。委員長と副委員長の抱負、おすすめの本の紹介などを掲載します。

図書委員一覧

年・組	1	2	3	4	5
1	石 飛 拓 海	○楠 田 唯 人	谷 口 友紀乃	大 西 沙 夜	横 山 純 夏
2	松 本 康 快	有 田 朋 広	牧 野 多 寿	福 田 嵐 士	前 田 さくら
年・コース	M	E	J	C	A
3	高 虫 航 平	浦 部 千 慧	秋 田 功太郎	◎豊 田 彩 陽	本 田 祥太郎
4	鈴 木 智 晴	竹 歳 湊 人	内 田 和 希	奥 野 明日香	鶴 亀 琥太郎
5	中 村 優 希	坂 口 宗	窪 田 更 紗	寺 谷 有都希	三 浦 和 花

◎：委員長、○副委員長

図書委員長、副委員長の挨拶

図書委員長

図書委員長になった豊田彩陽です。

米子高専の図書館は専門書が多いので、小説もこれからたくさん購入してもらって、棚に入り切らないほど多くの小説で溢れさせたいです。

また、米子高専の図書館は、私の母校の図書館や他の高校の図書館に比べてやや彩りに欠けるように感じるので、学生図書委員でポップを作り、来館者の目を引きつけるような工夫がしたいと思っています。図書館を変えることで、本が好きな気持ちをみなさんに伝えたいです。よろしくお願いします。

副委員長

図書委員会副委員長になりました、楠田唯人です。まだ自分自身この学校に来て間もないですが、皆さんにより多くの本に出会って貰えるように、頑張ります。

今回私のおすすめする本は、小林朋道さんの「先生！シリーズ」です。このシリーズは公立鳥取環境大学の教授である氏が、自然豊かな大学を舞台に起こる動物と人間をめぐる事件の数々を人間動物行動学の視点で描いた作品です。鳥取県内の話もたくさん載っています(主に東部ですが)。生物に興味がある方も、そうでない方も、とても読みやすいので、是非一度読んでみてください。

1年生への図書館オリエンテーション

4月15日、16日、17日、18日の「言語文化」の授業時間を使って、1年生への図書館オリエンテーションを行いました。1年生各クラスが図書館を訪問・館内見学を行い、電子学生証を使った本の貸し出し方法の体験を兼ねて、実際に本を借りてみました。



図書館業務・活動記録

4月 4日（金）	編入生・留学生への図書館ガイダンス・オリエンテーション	4月17日（木）	1年生（1-3、1-2）の図書館オリエンテーション
4月14日（月）	1年生への図書館ガイダンス（修学ガイダンス）	4月18日（金）	1年生（1-5）の図書館オリエンテーション
4月15日（火）	1年生（1-4）の図書館オリエンテーション	5月20日（火）	図書委員会（第1回）
4月16日（水）	1年生（1-1）の図書館オリエンテーション	5月31日（土）・6月1日（日）・7日（土）・8日（日）	前期中間試験時の開館